

# 福岡県地域生活定着支援センターの 取組みについて

---

福岡県地域生活定着支援センター  
センター長 小畑 孝仁

# 福岡定着と受託法人の概要について

---

## 1. 福岡定着の概要

開設 2010年7月

職員数 10名(センター長、主任相談員、相談員8名)

所在地 福岡市

受託法人 NPO法人 抱樸

## 2. 法人の概要

- ・1988年から活動開始。ボランティア団体としてスタート
- ・現在、27の事業を実施 ⇒生活困窮者、こども、障がい者、高齢者、刑余者支援など
- ・法人独自(制度外)事業と制度・委託事業の連携
- ・4つの市で活動 ⇒北九州市、中間市、福岡市、下関市
- ・「出会いから看取りまで」 ⇒伴走型支援の実践

# 人材育成と就業継続について

---

## 1. 人材育成について

### ➤現場での実践

○対象者面談 ○各事業所訪問・見学 ○同行支援 ○ケース会議・各種会議

### ➤各種研修

①定着支援センター関連 ⇒全定協(人材養成研修、ブロック別研修)、関係機関(アディクション研修、司法福祉研修など)

②当法人関連 ⇒新人研修、職員研修、管理職研修、外部研修など

## 2. 就業継続に向けて

### ➤重視しているポイント

○各職員のスキル、経験の違い ○業務量の把握 ○日頃のコミュニケーション ○法人の理念と体制

### ➤課題

○異動・退職に伴う引継ぎ ○欠員 →補充の問題(現職員の負担増) ○「法人理念」と「定着センター事業」のバランス

○システム化と継続性

# 業務上のリスク管理について

---

## 1. リスクとは

リスクの明確化 ⇒再犯、信頼喪失、各種トラブル、事故、情報漏洩など

## 2. 予防策について

①個人情報の管理、組織体の形成 ⇒個人情報の把握、ルール決め、管理マニュアルなど

②情報の共有 ⇒朝・夕のミーティング、職場会議、データベースやツールの活用

③支援プランの共有と検証 ⇒相談できる体制、法人内連携

## 3. 対応策について

①事実の把握 ②優先順位の確定(まず何を対応すべきか) ③法人内での共有、協力要請

④総括→フォロー(再発防止に向けて)

### ➤課題

予期せぬリスクへの対応、時間の確保、柔軟な対応と統制

# 予算の獲得について

---

## 1. 法人内での共有

- ・日頃から予算について意識する
- ・定期的な点検(ムリ、ムダ、ムラがないか)、支出のルール決め
- ・目標や活動方針の設定

## 2. 関係機関との調整

こまめな連絡 ⇒ 共通の認識を持つ、相談できる体制

## 3. 業務内容や業務量の数値化

- ・具体的なエビデンスの提示
- ・数値化 ⇒ 予算獲得の必要性

### ➤ 課題

先の見通しが立てづらい、取捨選択の基準、現場のニーズへの対応

# 地域や他機関との連携と広報について

---

## 1. 社会資源の明確化

- ・連携できている関係機関、不足している社会資源等を明確にする

## 2. 連携したい社会資源のリスト化

- ・分野別、地域別にリスト化する

## 3. 連携、広報の進め方

### ①連携について

- スケジュール化 ○職員間での役割決め

### ②広報について

- セミナー・シンポジウムの実施 ○直接訪問 ○他機関主催の会議・研修への参加

### ➤課題

連携が継続できない、周知・啓発が思うように浸透しない